

### ◎平成12年度研究成果発表会開催される

去る10月20日（金）、当所の平成12年度研究成果発表会が三会堂ビル9階・石垣記念ホールで行われました。

今年度は「21世紀の扉を開く－持続型社会に向けての環境保全－」をテーマに下記の5課題の発表を行いました。

- ・ランドスケープエコロジーに基づく里山ブナ林の保全  
関西支所 風致林管理研究室 深町加津枝
- ・森林が気候に及ぼす影響をモデル化する  
森林環境部 気象研究室主任研究官 渡辺 力
- ・タイ熱帯林の生育環境と季節変化の観測  
企画調整部 海外森林環境変動研究チーム長 沢田治雄
- ・環境と性能－木質材料だけにできること－  
木材化工部 複合化研究室主任研究官 洪澤龍也
- ・虫とウッドチップを使って牛糞を堆肥にする  
多摩森林科学園 森林生物研究室長 新島溪子



当日は、林業・林産業関係者のみならず、環境・リサイクル問題に関心を持っている方々の参加も多く、約170人が会場に来られました。それぞれの発表課題について活発な質疑応答があり、今年度の研究成果発表会も成功裡に終わりました。

### ◎つくば科学フェスティバル2000に参加

去る10月14日（土）、15日（日）の両日、つくばカピオで、第5回つくば科学フェスティバル2000が開催されました。このイベントは、つくば市内外の小・中・高校生を対象に、科学の楽しさ、大切さを理解し、科学への親しみを深めてもらうことを目的に、筑波研究学園都市内の研究機関・学校・一般企業・各種団体などが、来場者に実際に体験できる科学実験、展示などを行うものです。イベント期間中の来場者は、のべ9500人にのぼり、つくば市内で開催される催しの中でも大規模な物の一つです。



当所は、開催第1回目から参加しており、今年「きのこの仲間たち」をテーマに展示を行いました。筑波山から採集してきた約60種類のきのこ、約15種類の栽培きのこ、巨大なオニフスベや冬虫夏草などの標本、解説パネルの展示と、マツの根に菌根菌がついている様子を顕微鏡で観察する体験コーナーを設け、大変好評を得ました。また、森林生物部土壌微生物研究室長の岡部氏によるきのこの解説に多くの人が関心を寄せて下さり、盛んに質問などが交わされていました。

この場を借りまして、出展にご協力下さいました関係各位にお礼申し上げます。

### ◎子ども樹木博士認定会実施

去る11月11日（土）、当所樹木園で、子ども樹木博士認定会が行われました。これは、「子ども樹木博士」認定活動推進協議会が推進するもので、樹木のふれあいを通じて森林と環境と自然科学について学ぶきっかけを作ることを目的に行われています。参加者は、樹木の名前を覚え、覚えた数に応じて「子ども樹木博士」の認定資格が得られるというものです。今年から全国的な規模で実施されるようになり、当所で参加者を応募したところ、つくば市内の小中学生及び付添の方を合わせ、43名の応募があり、当日全員参加していただきました。



参加者は、園内の40種類の樹木を研究者の解説を聞きながら覚え、子ども樹木博士認定試験に臨みました。全問正解最高位4段の子ども樹木博士も誕生し、参加者全員に廣居所長より認定証が渡されました。